

クトゥール は眠らない

原作：H.P.ラブクラフト他
作画：おがわさとし他

SEISHINSHA 210

これは(株)青心社が無料で公開している電子立ち読み版です。コミック等、掲載作品は全て途中までとなっております。

また、モニタ解像度の関係で、スクリーントーン部分に「モアレ」と呼ばれる模様があらわれることがあります。

あらかじめご了承ください。



クトゥール は眠 らな い

作画：おぎわさとし

原作：H・P・ラヴクラフト

他

イラスト：板橋しゅうほう

青心社

陰栖鱒村綺談

奇形

臨終の看護

哄笑する食屍鬼

解説…闇の神話誕生

エーリツヒ・ツァンの音楽

無人の家で発見された手記

遙かな地底で

解説…闇のファイル共有

おがわきとし

原作…H・P・ラヴクラフト

文友海

原作…ロバート・ブロック

榎みちか

原作…ヒュー・B・ケイブ

田沢実那

原作…ロバート・ブロック

新熊 昇

フジワラヨウコウ

原作…H・P・ラヴクラフト

浜原栄未

原作…ロバート・ブロック

上村友樹

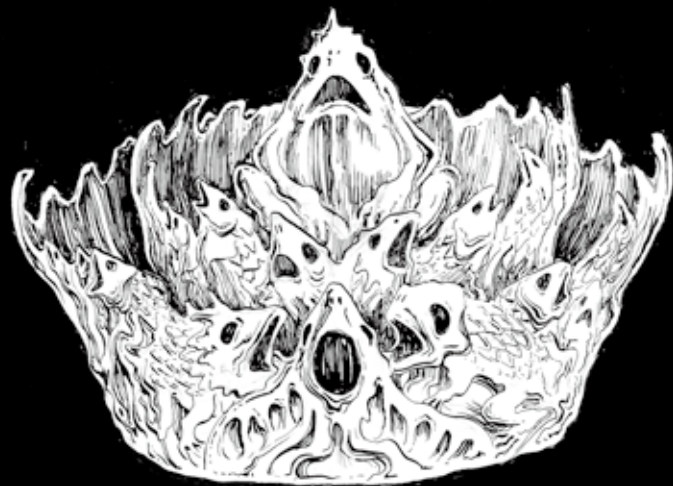
原作…R・B・ジョンソン

新熊 昇

186 159 135 119 118 93 63 31 3



いん す ます むら き だん
陰 栖 鱒 村 綺 談



おがわさとし

原作：H・P・ラヴクラフト（インスマスを覆う影）「クトゥル-8」より





日に二本しかない
バスを降りて
陰栖鱒村に
着いたのは
昭和二年十一月の
ことだ



私はその
南洋庁の
役人である

先の大戦^{まで}で
日本の委任統治領と
なった南洋群島を
治めるために
大正十一年
南洋庁が作られた



この陰栖鱒村から
金らしきものが
発見され

それが南洋由来の
ものだ
というのである



南洋庁に勤める
私が内地の
このさびれた漁村を
訪れたのは
ある愚にもつかない
噂話のためだった

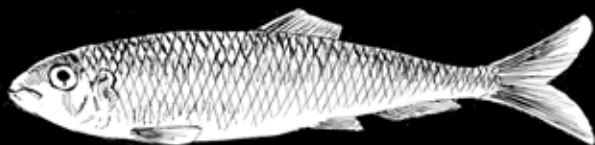
※ 第一次世界大戦のこと

しかし陰栖鱒村
近辺の骨董屋から
金らしきもので
できた三重冠が
みつかったのは
事実で
その名状しがたい
おぞましい意匠が
異国のものであることも
確からしかった

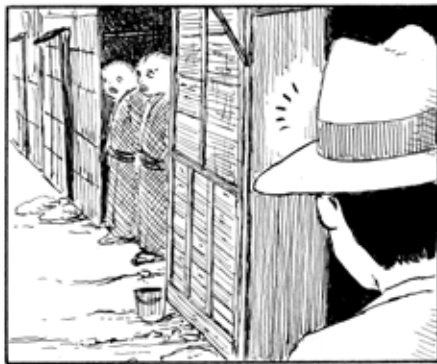


私の故郷である
阿亜^{アハ}神^{カミ}市^シから
陰栖鱒村は
さほど離れていない

阿亜神では
この村のことを
呪わしいものとして
語るのが常だった



魚の匂いがする





奇形

文 ムシ

友海 ともみ

原作：ロバート・ブロック 『クトゥルー4』より





へえっそんな遠くから
お嬢さん学生かい？

ええ
大学もあと卒業を
待つばかりなので
遅めのバカンスをと
思ってます

ほう
そりやあアイ
何も無い所だが
ゆっくりしていく
といい

ありがとう

——…ところで
あの…

サイモン・マグロア
という青年を
御存知ないですか

この町が故郷と
聞いたんだ
けれど…





心身共に衰弱しきうていた
学生時代の二期を過ごした
あの不思議な街ー

エーリッヒ・ツァンの
不思議な音楽を聴いた街ー

オーゼイユ街

なぜ見つからない…？

無い…

無い…





古風な趣の整った街！

一度でも住めば

誰だって気に入るに違いない街

だがわたしは、あの街に住んだことがあるという人には
ひとりとして出会ったことがない。

エーリッヒ・ツァンの

The Music of Erich Zann

音楽

フジワラヨウコウ

原作：H・P・ラウクラフト



引っ越してきたその晩

私は奇妙な音楽が
流れるのを聞いた。



私の部屋は街中を見下ろせる
場所にある古家の5階だった。



Erich Zann

Viol

どうやらその音楽は
私の部屋の上にある
屋根裏部屋に住む
エーリッヒ・ツァンという
亜者の老人が奏でている
ヴィオールの音だと
あとで知った。



ある晩私はツァンに
演奏を聞かせて
しらいたいと
頼み込んだ



私はこの世ならぬ
不思議な調べに
すっかり魅了された。

続きは書籍版でお楽しみ下さい。

解説：闇のファイル共有

新熊 昇

クリーチャーのグロテスクさはいくらでも工夫して描くことはできても、内面の狂気を絵にするのは難しい。

ましてや、ラヴクラフトをはじめとする神話作家の作品の多くは、キャラクター性を重視することはなく、辺境の土地の土俗的な社会の閉鎖された環境や因習、人智を越えたものの存在などに振り回される人間の矮小性をテーマにすることが多い。モノローグ形式が多く会話は少なく、自意識の外側の客体、意識と現実との疎外感は、コミックを含め映像化は難しいと考えられている。

だがしかし、難しいと言うのと不可能というのは別のこと。

現代、コミック、アニメ、ラノベやゲームなどの境目や垣根は次第に希薄となり、意識されることなくなくなってきた。

元々のファンからすると「原作とイメージが違う」という意見もあれば、「○○化されて、裾野が広がることは喜ばしい」とする考えも少なくはない。だから、たとえ「人の力の及ばない究極のホラー」であったとしても、原作を書いた者がいる以上、イメージとしてとらえようとすると試みは、大変興味深いことと言える。

人間の分際でそのようなものを描こうとするのは文字通り「禁断の行為」なのか、はたまたファイナル・フロンティアなのか、答えは永久に出ない、出せないものだろう。

続きは書籍版でお楽しみ下さい。

電子立ち読み版 クトゥルーは眠らない

2011年7月11日 立読版 発行

原 作 H.P. ラヴクラフトほか
作 画 おがわさとしほか
発行者 青 木 治 道
発行所 株式会社 青 心 社

〒550-0005 大阪市西区西本町 1-13-38

新 興 産 ビ ル 7 2 0

電話 06-6543-2718

FAX 06-6543-2719

振替 00930-7-21375

<http://www.seishinsha-online.co.jp/>

クトゥルーは眠らない 電子立読版 無料

クトゥルーは眠らない は
全国の書店でお買い求めいただけます。
当社直販をご希望の方は下記 url へ。
<http://www.seishinsha-online.co.jp/>



SEISHINSHA